

特定行為区分	血糖コントロールに係る薬剤投与関連		時間	36
特定行為名	(A) インスリンの投与量の調整			
学ぶべき事項	(共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識	1. 糖尿病とインスリン療法に関する局所解剖 2. 糖尿病とインスリン療法に関する病態生理 3. 糖尿病とインスリン療法に関するフィジカルアセスメント 4. インスリン療法の目的 5. 糖尿病とインスリン療法に関する検査（インスリン療法の導入基準を含む） 6. インスリン製剤の種類と臨床薬理 7. 各種インスリン製剤の適応と使用方法 8. 各種インスリン製剤の副作用		
	(A) インスリンの投与量の調整	1. 病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む） 2. 病態に応じたインスリンの投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等） 3. 外来でのインスリン療法と入院の適応 4. インスリン療法に関する患者への説明		
研修概要	(共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識	糖尿病の病態やインスリン療法を理解し、安全にインスリン投与量の調整を実践できる看護師を養成する。		
	(A) インスリンの投与量の調整	医師の指示の下、手順書（スライディングスケールは除く）により、身体所見（口渇、冷汗の程度、食事摂取量等）及び検査結果（血糖値等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、インスリンの投与量の調整を行う。		
到達目標	1. 糖尿病の特徴と具体的な治療方法を理解する。			
	2. 血糖異常や食事摂取量等その他糖尿病の状況に応じて、適切なインスリンを選択できる能力を得る。			
	3. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	4. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見（口渇、冷汗の程度等）及び検査結果（血糖値等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、インスリンの投与量の調整が行えるようになる。			
	5. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	6. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習及び模擬講義			
	実習：各種実習の観察評価			
	試験：eラーニング上もしくは集会で修了試験を実施			
研修内訳	講義（15時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（12時間）	視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	実習（7時間）	実習は、指導者の指導の下、指定研修機関で行う		
	試験（2時間）	修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
(共通) 血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識	糖尿病とインスリン療法に関する局所解剖	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	1
	糖尿病とインスリン療法に関する病態生理	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	2
	糖尿病とインスリン療法に関するフィジカルアセスメント	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	3
	インスリン療法の目的	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	4
	糖尿病とインスリン療法に関する検査（インスリン療法の導入基準を含む）	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	5
	インスリン製剤の種類と臨床薬理	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	6
	各種インスリン製剤の適応と使用方法	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	7
	各種インスリン製剤の副作用	岩田 実	富山大学附属病院 第一内科 診療教授	講義	8
	糖尿病とインスリン療法に関する患者の病態把握（1）医療面接	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	9
	糖尿病とインスリン療法に関する患者の病態把握（2）フィジカルアセスメント	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	10
	糖尿病とインスリン療法に関する患者の病態把握（3）SMBGの評価	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	11
	糖尿病とインスリン療法に関する患者の病態把握（4）アセスメントの実際	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	12
	病態のアセスメント	指導者	指定研修機関	実習	13
		指導者	指定研修機関	実習	14
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識 修了試験				試験

(A) インスリン の投与量の調整	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	16
	病態に応じたインスリンの投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	17
	外来でのインスリン療法と入院の適応（1）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	18
	外来でのインスリン療法と入院の適応（2）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	19
	インスリン療法に関する患者への説明（1）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	20
	インスリン療法に関する患者への説明（2）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	21
	インスリン療法に関する患者への説明（3）	山崎 勝也	つくば糖尿病センター 川井クリニック	講義	22
	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（1）（ペーパーシミュレーションを含む）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	23
	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（2）（ペーパーシミュレーションを含む）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	24
	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準（3）（ペーパーシミュレーションを含む）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	25
	模擬講義：Ⅰ型糖尿病について、Ⅱ型糖尿病について	青柳 智和	株式会社ラプタープロジェクト	演習	26
	模擬講義：食事療法、運動療法について	青柳 智和	株式会社ラプタープロジェクト	演習	27
	模擬講義：薬物療法（経口血糖降下薬、インスリン療法）について	青柳 智和	株式会社ラプタープロジェクト	演習	28
	模擬講義：糖尿病の合併症（急性、慢性）について	青柳 智和	株式会社ラプタープロジェクト	演習	29
	模擬講義：インスリンの副作用（低血糖）の特徴と対処法について	青柳 智和	株式会社ラプタープロジェクト	演習	30
	インスリン投与量の調整 見学又は手伝い	指導者	指定研修機関	実習	31
	インスリン投与量の調整 指導者の指導監督下で実施	指導者	指定研修機関	実習	32
		指導者	指定研修機関	実習	33
		指導者	指定研修機関	実習	34
		指導者	指定研修機関	実習	35
インスリンの投与量の調整 修了試験			試験	36	